

菊池はひとつ!

【マ挨拶】



令和七年度

菊池郡市PTA連絡協議会

会長 川村里伊

令和七年度、菊池郡市PTA連絡協議会会長を務めております、合志楓の森小学校PTA会長の川村里伊です。日頃より、各单位PTAの皆さまには、子どもたちのため、そして地域のためにご尽力いただき、心より感謝申し上げます。

近年、PTA運営を取り巻く環境は大きく変化しています。共働き家庭の増加や担い手不足、価値観の多様化など、各校が抱える課題は決して少なくありません。そのような中で、「PTAは何のためにあるのか」「どのような形が子どもたちのためになるのか」を、私たちは改めて考える時期にきていると感じています。

今年度、菊池郡市PTA連絡協議会では「菊池はひとつ」というスローガンを掲げ、活動してまいりました。この言葉には、学校や地域の違いを越え、同じ想いで子どもたちを支えていこうという願いを込めています。一校では難しいことも、郡市としてつながること、新たな可能性が生まれると信じています。

この一年間、各エリアを訪問し、多くの皆さまと直接お会いできたことは、私にとって大変貴重な経験となりました。現場で工夫や努力を重ねておられる皆さまの声に触れ、「菊池はひとつ」という言葉が、確かな実感として心に残る一年となりました。

最後に、私の好きな言葉を紹介させていただきます。「自ら機会を創り出し、機会によって自らを変えよ」

この言葉のように、これからも皆さまと共に一歩を踏み出し、学び合いながら、子どもたちのより良い未来につながるPTA活動を築いていきたいと思っております。

今後とも、菊池郡市PTA連絡協議会へのご理解とご協力を、よろしくお願いいたします。

▼菊池郡市PTA連絡協議会・研修会レポート

演題「全ての人や機関がつながり 個々の持つ力を発揮する」

講師 認定NPO法人 優里の会理事長 黒田信子氏

令和七年九月六日、大津町生涯学習センター大会議室にて、菊池郡市PTA連絡協議会の会員研修会が開催されました。

今回の研修では、児童虐待の現状や統計、影響や起因について学ぶとともに、関係機関の役割や連携の大切さについて理解を深めました。



講師の先生からは実際に寄せられた相談や事例の紹介もあり、保護者・教職員・地域それぞれの立場で何ができるのかを改めて考える良い機会となりました。

また、「ジエノグラム」という手法を用いて家庭の課題を整理・解決していく方法を学んだほか、「親の学び」としてすぐろくを活用したワークにも取り組みました。

参加者同士が意見を交わすことで、新たな気づきやコミュニケーションの大切さを実感できました。今回で二度目となる研修会でしたが、今後の課題として、PTA役員だけでなく一般会員の皆さんにも気軽に参加いただける研修会にしていくことが必要だと感じています。

人間関係が希薄になりがちな時代だからこそ、PTAは保護者同士のつながりを育む場として、その在り方を工夫していくことが大切だと考えています。

今後とも、皆さまと共に学び合い、子どもたちを支える活動を進めてまいります。

大津北中PTA会長 城本貴文

▼熊本県PTA研究大会あまくさ大会レポート

第2会場 天草市民センター(体育館) ■実践活動1「子どもの姿勢が集中力と健康を変える」(公財)運動器の健康・日本協会認定スクールトレーナー 水田順司氏

講演・実践活動2「整える力が未来をつくる」

講師 池田めぐみ氏(元フェンシング日本代表)

今年度行われた第五十一回熊本県PTA研究大会あまくさ大会に参加させて頂きました。天草では、8月豪雨による爪痕も残る中、実行委員さんや会員さん達が一生懸命大会を盛り上げてました。私が参加した第二分科会では、「子どもの姿勢」や「整える力」が、集中力や健康、日々の生活に深く関わっていることを、講演と実践を通して楽しく学ぶことができました。水田氏による実践活動では、家庭でも無理なく取り組める簡単な運動を体験し、普段の姿勢を少し意識するだけでも心や体が変わることを実感しました。また、池田めぐみ氏の講演では、「整える力」は子どもだけでなく親にとっても大切であることが語られ、深く心に残りました。



続いて行われたアトラクションでは、稜南中学校の「天草ハイヤ」と苓北中学校の「天領太鼓」が披露され、会場は大いに盛り上がりました。力強く息の合った演舞からは、日頃の練習の成果や仲間との絆が感じられ、地域の伝統文化を受け継ぐ子どもたちの頼もしい姿に、天草の魅力と未来への希望を感じました。

今回の学びを家庭や学校、PTA活動の中でも大切にしていきたいと思います。

合志楓の森小学校PTA会長 川村里伊